

なんで有期雇用なん！？ 大学非正規労働者の雇い止めを許さない関西緊急集会

2月27日（土）1時～4時 エルおおさか7階708

賛同・呼びかけのお願い

- 基調講演 脇田滋さん（龍谷大学／労働法）
- 現場からの報告
- アピール採択

きたる2月27日に、大学非正規労働者の、3年できび・4年できび・5年できび・6年できびなどの有期雇用に対抗する集会を開きます。大きな運動にしていきたいと思っております。
賛同していただける方、一緒に呼びかけして下さる方を求めます。

大学、官公庁、一般企業の間で、更新の年限を定めた有期雇用が広がっています。恒常的な業務であるにもかかわらず、数年で一律に雇い止めとなる有期雇用、私立大学ではずいぶん前から導入され、既に常態化していますが、国立大学でも2004年の法人化以降、各大学で有期雇用が導入されてきました。京都大学では5年。大阪大学では6年*。今年3月、全国の国公立大学、私立大学で大量の解雇が実施されます。

現在大学で働く非正規労働者の多くは女性です。大学に限らず、非正規労働の根底には女性労働の搾取の問題があります。主婦のパート仕事として位置づけられ、夫に扶養されることを前提にしているため待遇は改善されず、それが今では20代・30代の女性・男性がおかれる当たり前の労働環境になりつつあります。

数年ごとに雇い止めを行い、人だけ入れ替えるのは単に「首のすげかえ」であり、反復更新を繰り返すことにより、更新期待権が生じないようにするための方法です。しかし、多くの非正規労働者は「有期雇用であることを知って契約にサインしたのだから、雇い止めになっても仕方ない。」と諦めます。けれども、私達は声を上げます！

「なんで有期雇用なん！？そもそも、有期雇用自体がおかしいんちゃう！？」

有期雇用は「人を育てない・育てる気がない」、人々の働く力を貧困化させていくシステムだと考えます。

更新や雇い止めの不安に怯えながら働くのではなく、腰を据えじっくりとその仕事に携わりたい！
同じ仕事をしているのであれば、正規労働者と同じ賃金・待遇を！

その思いを抱えた関西の国公立・私立大学の非正規労働者たちが大学を超えて集まり、今年3月末に各大学で行われる雇い止めを実行させないため、緊急集会を開くことになりました。

有期雇用に疑問と不安を抱きつつも、声を上げられない非正規労働者の方々に「共に声を上げよう！」と呼びかけ、有期雇用の問題性**を明らかにし、抜本的な解決策を皆さんと共に考える場にしたいと考えています。

呼びかけ団体

京都大学時間雇用職員組合 ユニオンエクスタシー
関西単一労働組合 大阪大学分会
関西非正規等労働組合 ユニオンぼちぼち
京都精華大学嘱託教職員組合 SocoSoco
大学をどうするか！共に考える全学大討論会実行委員会（大阪大学）
関西圏大学非常勤講師組合

2010年1月21日現在

* 阪大は法人化以前からの長期非常勤職員も今後5年で雇い止めにする旨を発表しました（一部を特例職員として登用）。

** 現在、派遣法改正が国会で論議されています。派遣から直接雇いになったとしても、それが期限付きの有期雇用なら、労働者は不安定なままです。派遣と有期雇用を正しく規制していくことは、非正規労働者の生存を守るために必須の、車の両輪といえる問題だと私たちは考えています。

「大学非正規労働者の雇い止めを許さない関西緊急集会」実行委員会
<http://nandenan0227.blogspot.com/nandenan0227@gmail.com>

以下ご記入の上、切り取って返送ください。

なんで有期雇用なん！？ 2・27関西緊急集会に賛同します。

領収書

2010年 月 日

お名前・団体名
ご連絡先

金額
お名前
所属・住所

賛同人として名前の公表は（可・不可）です。
賛同カンパをお願いします。「関西緊急集会へカンパ」と記載の上、郵便振替口座 00950-5-204933 キョートット出版 までお願いします。

2・27関西緊急集会の賛同カンパとして受領しました
大学非正規労働者の雇い止めを許さない関西緊急集会実行委員会